

カーボンニュートラル対応 第7回

カーボンニュートラル(以下CN)については「2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」ことを宣言した。

当会では、CN専門委員会を立ち上げ、2021年8月27日より活動を開始した。会員の皆様からいただいたアンケートの結果に基づき、CNを正しく理解していただくための勉強会の開催、パンフレットの送付(その1~4)そして車体NEWSでは2021秋号からCNの取組みを紹介している。

第7回目今回は、継続して実施している勉強会の実施状況、CJPT*と連携した商用車電動化WG実施状況に、12月22日にリリースしたCN専用ホームページについて紹介する。

*CJPT: Commercial Japan Partnership Technologies(コマーシャル・ジャパン・パートナーシップ・テクノロジーズ)

CN勉強会

1. 入門編

会員の皆様のCNに対する理解を深めていただくことを目的に勉強会(入門編)を継続中。

内容:

- ・ CNとは? ・ 車工会アンケート結果
- ・ CNに何故、取り組む必要があるのか? ・ CN取組みの進め方

	開催日	開催方法	講師	参加社数
第13回	2022年12月20日(火)	オンライン(Zoom)	トヨタ自動車東日本(株) PE・環境部 松井部長	10社
第14回	2023年 1月26日(木)	オンライン(Zoom)	トヨタ自動車東日本(株) PE・環境部 松井部長	5社
第15回	2023年 2月22日(水)	オンライン(Zoom)	日産車体(株) 安全環境部 薬丸部長	13社

結果:

- ・ 参加者アンケート結果、勉強会前後で大きく理解度が向上
- ・ 多くの会社で社員教育として活用し、確実に裾野が広がっている

今後の予定

	開催日	開催方法	講師
第16回	2023年 3月23日(木)	オンライン(Zoom)	トヨタ車体(株) プラント環境生技部 カーボンニュートラル企画室 杉山室長

2. 実践編

具体的な取組みの進め方や事例の紹介を織込んだ「実践編」勉強会を開始

内容:

1. CNとは?(振り返り)
 - 1) 世界の動向
 - 2) 働くクルマを取り巻く環境
2. CN推進方策(実践編)
 - 1) 取組みの進め方
 - 2) 具体的な取組み事例

	開催日	開催方法	講師	参加社数
第1回	2022年12月22日(木)	オンライン(Zoom)	トヨタ自動車東日本(株) PE・環境部 松井部長	10社
第2回	2023年 2月 9日(木)	オンライン(Zoom)	トヨタ自動車東日本(株) PE・環境部 松井部長	10社

結果:

- ・ 参加者アンケートでは、勉強会の内容は、自社の取組みに活かせると回答
- ・ Scope3の取組み事例提供の要望あり

今後の予定

	開催日	開催方法	講師
第3回	2023年 3月 9日(木)	オンライン(Zoom)	トヨタ車体(株) プラント環境生技部 カーボンニュートラル企画室 杉山室長

CN専用ホームページ

迅速に、そして分かり易くCNに向けた会員の皆様の活動状況や官公庁、他団体の有益な情報を共有し、諸活動にお役立ていただくために、「CN専用ホームページ」を開設し、2022年12月22日にリリースした。

URL: <https://www.jabia.or.jp/cn/>



<掲載コンテンツ>

- CNの基礎知識
- CNとは
- アンケート結果
- パンフレット
- 勉強会・講演会
- 車体NEWS
- 専門委員会情報
- CO2排出量データ/CO2排出量削減目標
- CNに向けた取組み
 - 生産領域の省エネ情報
 - 取組み事例/現地訪問意見交換会
 - グリーンエネルギー情報
 - LCA(ライフサイクルアセスメント)情報
 - 商用車電動化情報
- 官公庁情報
 - 補助金・助成金・税制優遇情報 他
- よくあるご質問
- お問い合わせ

カーボンニュートラルに向けた取組み

カーボンニュートラル達成に必要な「省エネの推進」「再生可能エネルギーの活用」「ライフサイクル全体での取組み」「商用車の電動化」に関する情報がご覧いただけます。



車工会会員の皆様へ

会員にとって有益な情報を継続して発信して参りますので、掲載要望等お気づきの点がございましたら、お気軽に事務局までお問い合わせ下さい。

CJPTとの連携による「商用車電動化WG」

今後の商用車電動化に向け、シャシ・架装の課題を解決するため、2022年8月より、CJPTとの「油圧駆動WG」、「電力供給WG」を実施し、懸案事項の共有・確認、課題に対する取組みの方向性を合意した。

<今後の対応>

- ・ 電動車の実車検討での具体的課題対応について、2023年度も引き続きCJPTとの連携、個別WG活動を継続
- ・ WG結果の会員への情報発信 (~3/末)
- ・ 自工会「大型車委員会」の場で意見交換等を検討